

浄剤)……アニオン4種, 非イオン2種……および内外市販台所用洗剤……国内品5種, 外国品5種……の温度別(15°C, 25°C, 35°C)濃度別(活性剤濃度として0.1%, 0.05%, 0.01%)硬度別(53.6 ppm, 89.3 ppm, 178.6 ppm)の洗浄力について測定評価した結果, 本方法は再現性良く, かつ精度が高いことが知られた。

従ってこの方法は, 台所用洗剤の洗浄力を油污除去で評価する場合の一つの方法として, 十分採用可能の方法と考える。

B-11 台所用洗剤の洗浄力試験法に関する研究 (第1報)

—人工油污垢の除去試験について—

ライオン家庭科研 藤井 徹也
鈴木益太郎
田中 良平
○比企みよ子

1. 台所用中性洗剤の洗浄力評価法については, ラウンダーオーメーター法, あるいはリーナッツ法およびその改良法等今まで種々の研究が行なわれているが, いずれもガラスプレートに付着した油污垢を除去するものである。本報告では洗浄力評価の一つの方法として, 油污垢の付着した小型の皿をビーカー型洗浄槽中で洗浄する方法を考案し, その污垢除去率の再現性を検討した。

2. 各種の人工油污垢(大豆油, クリスコ, 牛脂等)を小型の陶器皿に付着させ, 皿立てにその8枚をセットして洗剤溶液中に浸し, タービン型スターラーを用いて洗剤液を攪拌, 皿を洗浄する。皿は更にすすいで風乾した後, 残留油污垢をエーテルで抽出し, 重量法で油量を測定して, 洗浄効率を算出した。

3. 人工油污垢としては大豆油とクリスコの混合油脂が再現性のよいことが知られた。また各種界面活性剤(洗